

# 遠藤ひろし

## 地域振興と県政発展

県議会議員 遠藤浩の信条は、「地域の振興は、県政発展の基礎。」  
直面する課題解決に対して真摯に取り組んでいます。歴史に学び、  
先人を敬う政治は、新たな課題に対しても柔軟な対応をいたします。



世界が  
平和で  
ありますように



世界平和を祈る集い。(10月23日:日向山仏舎利平和宝塔)

「あいさつ」  
市川三郷町にお住いの皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。また、新年を迎えられ希望に満ちた良い年になりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、昨春秋、国において「未来への投資を実現する経済対策」として3.2兆円の補正予算が成立し本県においても山億円余の補正額が発生し緊急対応として1月7日に臨時会が招集され即日可決されました。

また、12月定例県議会は、5日に開会され、19日までの会期で開催されました。今回、県議会議員 遠藤浩は、一般質問で登壇し、健全な青少年の育成や地域課題などについて県の考えを質しました。

地域の振興は県政発展の基礎。「地域振興と県政発展」が達成できますよう取り組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

### 活動の報告



戦没者慰霊 秋の例大祭  
(10月5日護国神社)



市川大門老人クラブ運動会  
(10月7日町民体育館)



図書館歴史講座  
(10月9日町民会館)



びゅうあ峡南フェスティバル  
(10月16日びゅうあ峡南)



ことぶき勸学院30周年式典  
(10月20日県民文化会館)



私学のつどい  
(10月22日山梨学院大学)



大門碑林書道展表彰式  
(10月23日ひらしお源氏の館)



町高校再編検討委員会  
(11月1日役場大会議室)



六郷の里 秋まつり  
(11月6日六郷小学校)



「県民の日」知事の紙渡し  
(11月12日小瀬公園)



青い鳥奉仕団設立50年  
(11月18日常盤ホテル)



峡南地区戦没者遺族大会  
(11月22日歌舞伎文化ホール)



ニッポン全国物産展  
(11月27日サンシャイン)



第八分団無火災祈願祭  
(12月4日集善神社)



大塚にんじん収穫祭  
(12月10日みたまの湯)

# 12月定例議会

## 12月定例会 注目の議案

- 山梨県県税条例等の一部改正  
(身体障害者等のための自動車税等の  
減免制度見直し他)
- 社会福祉施設等の防犯対策整備費
- 発達障害等に係る総合拠点整備事業費
- 新設高校施設整備費(用地測量)
- 富士北麓公園陸上競技場改修事業費
- 県道六郷インター線認定

## 11月臨時会 緊急経済対策

- 緊急道路整備修繕費  
(高萩地内法面对策、上野地内歩道設置)
- 急傾斜地崩落対策事業費  
(下大鳥居地内)



12月議会 一般質問のようす。

12月定例県議会では、国の地方創生拠点整備交付金を使った成長分野への支援や子どもの心のケアに係る総合拠点整備、東京オリンピック等の対応のための富士北麓公園陸上競技場の整備などが提案され議論されました。

また、知事は、中部横断道の六郷インター以南の開通時期と事業費の総額が示され、今後、コスト縮減と1日も早い開通を目指すよう取り組むとともに、開通後の将来を見据えた地域づくりに取り組んで行くことなどを表明されました。

## 一般質問

健全な青少年の育成に向けての取り組みなど11項目の質問を行いました。

近年の青少年を取り巻く社会環境は、18歳未満の子どもの6人に一人は貧困という調査結果もあり、貧困対策は喫緊の課題です。

効果的な推進には、教育行政と福祉行政の連携が必要ですが、県は、相談機関などを中心にした連絡会議で取り組んでいます。

また、すべての教育の出発点である家庭教育への支援については、放課後児童クラブや放課後子ども教室などが良い機会だとの認識を示しました。



青少年の非行・被害防止県民大会 (7月7日甲府市民会館)

また、障害者支援施設などの防犯体制と「共生社会」の実現への取り組みは、12月議会で予算計上した防犯カメラやスプリンクラーの設置を進めていく方針を示しました。



障害者支援施設の安全対策調査 (11月4日育精福祉センター)

## 一般質問項目一覧

- 1 健全な青少年の育成について
  - (1) 子どもの貧困対策における教育と福祉の連携
  - (2) 貧困家庭に対する家庭教育の支援
  - (3) 県警察における非行少年の立ち直り支援への取り組み
- 2 基礎学力の確かな定着について
- 3 峡南地域の新設高校の開校に向けた取り組みについて
- 4 ボランティア活動の推進について
- 5 社会福祉法人 制度改革への対応について
- 6 国民健康保険について
- 7 「共生社会」の実現に向けた取り組みについて
- 8 峡南医療センターへの支援について
- 9 県産材の需要拡大に向けた取り組みについて
- 10 MICE主催団体への受入情報発信の充実について
- 11 峡南地域の公共事業の整備状況について
  - (1) 芦川の護岸改修と芦川橋の架け替えについて
  - (2) 県道・笛吹市川三郷線の整備について

MICE (マイス) とは、Meeting (会議・研修・セミナー)、Incentive tour (報奨・招待旅行)、Convention またはConference (大会・学会・国際会議)、Exhibition (展示会) の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの一つの形態。参加者が多くだけでなく、一般の観光旅行に比べ消費額が大きいことなどから、MICEの誘致に力を入れる国や地域が多い。

## 峡南地域高校再編スケジュール

	H28	H29	H30	H31	H32	H33
地域会議						
知事表明						
調査費計上						
学校名募集						
開校						
	測量	設計	第1期工事		第2期工事	

## 9月定例会 知事表明

- 普通科(英語系列を含む)、工業科、商業科の3つの学科で構成。
- 単位制の総合制高校。(県内初)
- 現在の市川高校とその隣接地に設置。
- 1学年の定員を280人。(県下最大規模)
- 平成32年4月の開校を目指す。

増穂商業高校、市川高校、峡南高校3校の学校長などで組織する検討委員会を設置し具体的な検討に着手している。通学に不便が生じる地域にはバス路線の確保も働きかける。こうした検討などの結果は、地域説明会などを通じて保護者や学校関係者に速やかに周知する。との答弁がありました。生徒の多様な進路希望や学習スタイルを受け入れ名実とも新設校にふさわしい高校が誕生するよう取り組んでいきます。

# 今後の地域課題への対応



## 中部横断道の全線開通が遅延

中部横断道の開通は、トンネル工事が難攻していることから、平成31年度となり、建設事業費も600億円と大幅に上がり2600億円になる見込みです。

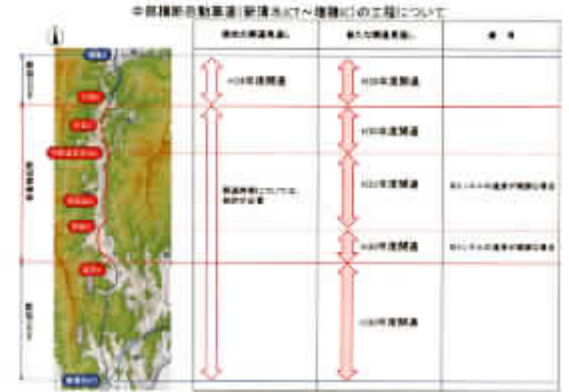
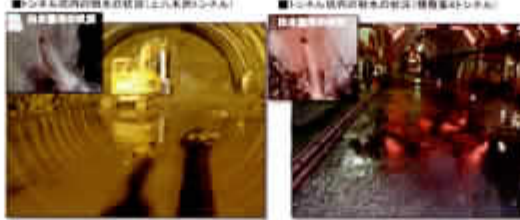
知事は、コストの縮減と早期の開通を国などに働きかけると共に、開通後の将来も視野に入れ、中部横断道を活用した地域づくりにも積極的に取り組むとの表明をしています。

また、増穂～六郷間の開通に向けた改良工事などのため、双葉ジャンクション～増穂間が平成29年2月20日～3月6日まで通行止めとなります。

想定以上に強い地層による掘削道の難攻、トンネル掘削後の断面の劣化



トンネル掘削中の湧水の発生



## 六郷インター



六郷インター工事のようす (平成28年12月)



改修工事が待たれる岩間地内

平成29年3月に供用開始となる予定の六郷インターは、着実に工事が進んでいます。

インターから峡南橋西詰までを県道六郷インター線として12月議会で新たに認定されました。また、県道市川三郷身延線の岩間地内において、舗装の改修および段差解消などの整備が順次行われます。

## 笛吹市川三郷線



### 11月補正予算(緊急経済対策)



歩道の設置工事が待たれる芦川踏切(上野地内)



崩落により法面対策工事が行われている(高萩付近)

### 継続的道路改良



落石防止に対応している防災工事 (堀熊付近)



道路幅確保のための改良事業 (境界付近)

ハガキサイズに切り取り、切手を貼らずに投函してください。

ご記入欄

郵便番号

ご住所

お名前

電話番号

県道笛吹市川三郷線(精進湖線)は、地域の生活を支える幹線道路で、落石防止などの防災事業や道路幅の狭い箇所の改良事業を順次実施しています。

現在、甲府市との境界付近、約400メートルの区間で、平成30年度の完成を目指し拡幅工事を進めている。との県の方針が示されました。

# 地域課題への対応

## 国民健康保険

市町村国保の27年度決算は、全体で約4億6千万円の赤字で依然として厳しい。国保制度改革により財政支援の拡充と財政規模の拡大、安定化を図る事とされ、市町村と連携した収納対策や保険料給付の適正実施、医療費適正化などを推進して行く。また、県下一律化は、地域の特性が失われてしまうのではないかと質したのに対し、保険料率の県下一律化は、望ましいと考えるが現行とのかい離が著しく慎重な検討が必要。との答弁がありました。

### 国民健康保険の改革による制度の安定化（運営の在り方の見直し）

- 平成30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の提供等の確保運営に中心となる役割を担い、制度を安定化
  - ・国保料率の適正化と徴収率の向上、国保料率の適正化
  - ・国保料率の適正化と徴収率の向上、国保料率の適正化
  - ・国保料率の適正化と徴収率の向上、国保料率の適正化
- 市町村は、地域住民と連携の見える関係の中、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保険事業等地域における役割の担い手として役割を担う



## 峡南医療センター

峡南北部地域は、救急をはじめ医療提供体制の立て直しと、在宅医療の充実の必要性が県下で最も高い医療圏です。「地域完結型」の医療を実現するため、市川三郷町立病院と社会保険諏訪病院の経営統合を県が主導し、峡南医療センターが設立されたが、初年度に約7億円、昨年度も3億8千万円の赤字を計上し、地域に医療の提供が困難になる。継続した支援が必要だ。と質しました。



## 県議会教育厚生委員会による県内調査

県議会の教育厚生委員会では、アクティブラーニングを県下で先行して実施している県立市川高校と障害者の農業分野への就労を支援する農福連携障害者就労促進事業を調査するため市川三郷町山保地区への調査を行いました。アクティブラーニングは、次期学習指導要領の改定で取り入れられる学習指導方法で、県教育委員会は、今年度から推進校を県下四地区に設置し、取り組んでいく事としています。これに先駆け実施していた市川高校の授業の様子を調査しました。また、県は農業分野での福祉就労の事業モデルを目指して取り組んでいましたが、市川三郷町内の就労支援施設事業所が桑の葉茶を作る会社と提携して、障害者就労を推進していて、この作業のようすを調査しました。



アクティブラーニングによる授業の様子(左上) (11月4日県立市川高校) 県議会議員と市川高校生徒の意見交換会(上右)



市川三郷町内の桑の葉茶製造会社園場(11月4日山保地区)

料金受取人払郵便  
田富郵便局承認  
2095  
差出有効期間  
平成30年2月14日  
切手を貼らずに  
お出しください

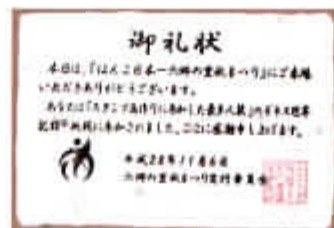
郵便はがき

409-3890

遠藤浩事務所  
行

西八代郡市川三郷町市川大門  
一五六八—一

## ギネス記録 1,573人達成!



「はんこ日本一六郷の里秋まつり」で実施されたギネス世界記録への挑戦も、多くの来場者により見事、記録達成となりました。関係者のご尽力と皆さまのご理解に感謝申し上げます。来年以降も、新たな文化として継続して行く事を願います。

ご意見やご相談をお寄せください。

ハガキサイズに切り取り、切手を貼らずに投函してください。

遠藤浩事務所

西八代郡市川三郷町市川大門1568-1  
TEL/FAX 055-272-0330

